

天空列車の旅

6月23日から7月3までの11日間 中国の西蔵鉄道に乗る旅をしてきました。

西蔵鉄道は去年全線開通した鉄道で、中国西域 西寧からチベット ラサまでですが、今回は、途中のゴルムド（西寧から約1／3のところ）からラサまで15時間乗りました。

ゴルムドーラサ間での平均標高が4000mを越えるという高原列車です。

最高点が5068m（タングラ峠）です。

高度順応のために、乗車まで4日間の準備期間があり、その間バス観光をしました。

バス観光でも酸素ボンベが配られましたが、ほとんど必要なしでした。

列車内は、ラサの雰囲気にあわせてあるということでしたが、気圧調整はなく、単に酸素を供給しているだけのようでした。

列車の乗車時間は約15時間（6:00～21:00）で中国人と筆談をしながらの楽しい旅でした。

写真にあるとおり、タングラ山脈などの壮大な雪山が眺められますが、大部分が砂漠で、単調な風景が続きます。

中国旅行では、水や食物の関係でおなかをこわすことがよくあると聞いていましたが、私は快調でしたし、全員（24人）が元気でした。

記 落 合



